

令和6年(2024年)12月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年12月 数量 (トン)	2024年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産、千葉県産中心の入荷でした。干ばつ等の影響はあったものの、数量はやや増加しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	810	130	107%	173%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。夏場の高温の影響があったものの、数量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	997	84	110%	109%
3		きゅうり	宮崎県産、埼玉県産、群馬県産、千葉県産中心の入荷でした。数量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	175	550	83%	124%
4		ねぎ	埼玉県産、茨城県産中心の入荷でした。数量は平年並み。平均単価はかなり高く推移しました。	169	569	98%	131%
5		馬鈴薯	北海道産中心の入荷でした。数量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	261	180	65%	164%
6	果実	みかん類	カメムシによる被害、夏の猛暑の影響からの生理落下の多発等により数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	855	415	71%	130%
7		りんご類	春先の開花期の天候不順に加え、カメムシの多発による被害もあり数量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	138	454	71%	115%
8		いちご類	猛暑によるいちご苗の生育不良から定植の遅れ、生育不良により数量はかなり減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	43	2,649	55%	107%

【増減基準】

- ① 並み、横ばい: (+-)0~2%
- ② やや増加(減少): (+-)3~10%
- ③ 増加(減少): (+-)11~20%
- ④ かなり増加(減少): (+-)21~50%
- ⑤ 大幅に増加(減少): (+-)51%以上